

稲沢北小学校だより

TEL 0587-23-1555

Eメールアドレス
es-inazawan@inazawa-aic.ed.jp

きずな

第131号

令和6年度7月14日

第1回 学校公開日・児童引き渡し下校訓練

6月1日（土）に学校公開日を行いました。各学年2時間ずつ授業を公開し、子どもたちの学習に取り組む様子を参観していただきました。

5年生は野外教育活動説明会を、4・6年生は、外部から講師をお迎えし、親子スマホ安全教室を行いました。午後からは、全学年を対象に、



雷雨を想定した保護者による児童引き渡し下校訓練を行いました。職員も流れを確認することで、訓練の重要性を再認識することができました。今回は初めて自家用車などによるドライブスルー方式での訓練を実施しました。訓練開始直後は、想定よりも大幅に時間がかかってしまったため、お待たせする時間もあり、ご迷惑をお掛けしました。今回の反省を今後に生かしていきたいと思います。ご協力いただいた保護者の皆様には、大変感謝しています。ありがとうございました。

交通安全教室

5月16日（木）、1・4年生を対象に交通安全教室を行いました。体育館で、警察の方や指導員の方の話を聞きました。道路を渡るときには「止まる」「見る」「待つ」に気を付けること、自転車は車の仲間であることなどを学びました。また、普段の生活の中に潜む危険を考えるために、交通安全の動画を視聴しました。クイズ形式になっていたため、自分たちが考える安全行動を確認することができました。その後、用意していただいた信号機や横断歩道などを使って、「止まる」「見る」「待つ」に気を付けながら歩行訓練を行いました。



学校保健委員会

子どもたちの心身の健全な発育・発達のための取組として、5月31日（金）に4～6年生の児童を対象にした第1回学校保健委員会を開催しました。今年度のテーマは「歯と口の健康」でした。保健委員会による歯磨きの実態調査の報告や問題提起をはじめ、「稲沢市保健センター健康推進課」の佐々木真唯様からの講話を通して、歯と口の健康について正しい知識を身に付け、適切な歯磨きの仕方について学びました。新型コロナウイルス蔓延防止のためしばらく行っていなかった給食後の歯磨きも再開した今年度、子どもたちにとって歯と口の健康について改めて考えるよい機会となりました。



福祉実践教室

6月6日（木）に、4年生が「見えない人とともに」「手話」「人にやさしいまちづくり」の3コースに分かれて「福祉実践教室」に参加しました。障害のある人の話や体験活動を通して、障害のある人に対する理解を深め、他人を思いやる温かい心を育みたいと考えて取り組みました。

「見えない人とともに」のコースでは、音訳やデージー図書についての説明を聞いたり、「視覚障害者」と「目の悪い人」の違いについて考えたりしました。また、視覚障害者のために町の中で見かけるいろいろな工夫について、話し合ったり、発表したりしました。

「手話」のコースでは、「耳の不自由な人」とのコミュニケーションの方法や、文字カードや絵カードを使った交流の仕方について説明を聞きました。挨拶や名前の表現の仕方について体験しました。いろいろある交流方法の中で、手話が一番伝わりやすいことが分かりました。

「人にやさしいまちづくり」のコースでは、DVDを視聴して、街では、「目や耳の不自由な人」や「車椅子を使っている方々」がどのようなことに困っているかということに気づき、どのようなサポートができるのかについて話し合いました。線状ブロックや点状ブロックの上を目隠しをして歩くことで、見えないことの恐怖感や歩きづらさについて実感することができました。

これから、自分が困っている方々を見かけたときに、どのようにお手伝いできるかについて考え、「福祉新聞」にまとめました。



野外教育活動

5年生は、6月26日（水）、27日（木）の2日間、春日井市少年自然の家で野外教育活動を行いました。

環境プログラムでは4つのアクティビティに取り組み、野生動物にとって、生息地や食料、水、隠れ場所が密接に関連し合っていることや、一つでも欠けると生態系が壊れていくことを体験型ゲームを通して楽しく学びました。

キャンプファイヤーでは、各クラスのスタンツで劇やダンスを披露したり、皆でゲームをしたり、マイムマイムを踊ったりしました。児童それぞれが自分の役割をしっかりと果たし、楽しむことができました。日が暮れていく中で見たトーチトワリングには、「すごい」「きれいだな」と全員が感動する時間を共有することができました。

野外教育活動では、仲間と協力したり助け合ったりすることで、仲間のよさや大切さについて改めて気付くことができました。また、大自然の中でさまざまな活動をする中で、環境や生態系について理解を深め、自然の有り難みについて体感する機会になりました。



